

地域文化財総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	宮崎県都城市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	都城市文化遺産を活かした地域活性化事業	【計画の改善時期】 平成31年度	
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
<p>都城市文化振興計画（第1次：平成22年3月策定、第2次：平成30年3月改定）を踏まえ、都城市の文化遺産である民俗芸能の継承・発展のため、地域文化遺産活性化事業を行うことで、文化遺産を活かした地域活性化を図り、行政と民間団体、民俗芸能保存連合会及び各保存会等との連携・協力体制の確立を目指す。</p> <p>なお、各保存会においては、それぞれの状況等を勘案しながら、青少年を交えての活動及び用具等の整備を進め、民俗芸能の継承及び後継者の育成に努める。同時に、地域の行事等に積極的に参加し、地域の活性化に努める。</p> <p>※都城市文化振興計画は、URL(http://www.city.miyakonojo.miyazaki.jp/)を参照。</p>			
6 実施体制			
<p>本事業については、都城市が全体計画の企画、調整、事業の指導等を行う。主な担当課、役割は下記のとおり。</p> <p>都城市コミュニティ文化課：全体計画の企画、調整、事業の指導等</p> <p>事業実施については、次の団体が実施する。</p> <p>都城市伝統文化活性化実行委員会（会長：大川原 紀美生）</p> <p>構成団体：（都城市コミュニティ文化課、山之口まちづくり協議会、山之口麓文弥節人形浄瑠璃保存会、山之口弥五郎どん祭り保存会、花木地区郷土芸能あげ馬保存会）</p> <p>※計画期間終了後は、山之口まちづくり協議会が中心となって事業を継続する。</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成30年度交付決定額： 16,708 千円	平成31年度申請額： 599 千円
	(2) 実施事業の概要	別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<ul style="list-style-type: none"> ・市民の地域の民俗芸能に対する関心や意識が向上し、また、保存会会員の意欲の向上に伴い民俗芸能の継承及び後継者育成が図られ、同時に文化遺産を活かした地域の活性化が期待できる。 ・小学校におけるクラブ活動で、三味線の習得に取り組む学校が増えることが期待できる。（現在5校で実施。） 			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：			
事業概要：			
事業概要：			
11 「文化財保存活用地域計画」の作成・認定や「文化財保存活用大綱」の策定、「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
<p>「文化材保存活用地域計画」の策定については、現在検討中。「文化材保存活用大綱」及び「敵視文化基本構想」、「歴史的風致維持向上計画」については、作成・認定に向けた計画なし。</p>			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	都城市市民生活部コミュニティ文化課		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	地域に誇りを感じる住民の割合 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	都城市民俗芸能保存連合会加盟団体数の維持	関連事業:		①、②、③、④、⑤、⑥		
目標値 1 :	【現状値】 平成 29 年度 69 団体 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 69 団体					
設定根拠 1 :	少子高齢化等に伴う慢性的な後継者不足					
進捗状況 1 :	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
69 団体	67 団体	団体	団体	団体	団体	
0%	0%					
目標区分 2 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 2 :	その他 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 2 :	小・中学校での民俗芸能活動と保存会との連携	関連事業:		①、②、③、④、⑤、⑥		
目標値 2 :	【現状値】 平成 29 年度 20 校 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 20 校					
設定根拠 2 :	地域の活性化のためにも、児童と保存会の繋がりを保ちつつ、活動校の維持					
進捗状況 2 :	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
20 校	20 校	校	校	校	校	
0%	0%					

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	都城市伝統文化遺産を活かした地域活性化事業					実施団体：	島津稲荷神社神舞保存会				
事業区分：	記録作成					事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 33 年度				
事業概要：	島津稲荷神社に伝わる神舞の記録作成事業を行い、次世代の資料とするとともに、後継者育成に活用する。										
評価指標区分：	・保存会会員数の変化（維持）					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	島津稲荷神社神舞の踊り手及び器楽奏者の高齢化に伴い、保存会の維持と後継者の育成に努める。										
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 6 名 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 8 名										
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
6 名	6 名	名	名	名	名						
0%	0%										
事業②：	都城市伝統文化遺産を活かした地域活性化事業					実施団体：	安久節保存会				
事業区分：	用具等整備					事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 33 年度				
事業概要：	安久節保存会会員が使用する衣装等を新調することにより、保存会会員の意欲の維持と継続。										
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	安久節の踊り手及び器楽奏者の高齢化に伴い、保存会の維持と後継者の育成に努める。										
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 15 名 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 17 名										
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
15 名	16 名	名	名	名	名						
0%	50%										
事業③：	都城市伝統文化遺産を活かした地域活性化事業					実施団体：	穂満坊あげ馬保存会				
事業区分：	用具等整備					事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 33 年度				
事業概要：	穂満坊あげ馬祭りで使用する用具の購入。また、地区住民の参加(行列、演舞、裏方等)により、祭りは継続されている。										
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	穂満坊あげ馬祭りは4年に1回開催される祭事であり、地区住民の熱意、協力により運営、継承されている。										
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 120 名 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 120 名										
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
120 名	0 名	名	名	名	名						
0%	0%										

